

第4回 すぐに振り込まない 振り込み詐欺への対策



近は前もって「携帯電話を変えた」などと違う連絡先を教えおく場合もあるので注意が必要です。

② 架空請求詐欺

料金の未納(実際には無い)があるなどとメールや郵便で請求を行い、現金をだまし取る手口です。

↓対策

身に覚えが無ければ無視してください。ハガキなどに書いてある連絡先に電話などをする、さらに個人情報を知りだされたりすることがあるので絶対にこちらから連絡しないでください。

③ 融資保証金詐欺

「低利で融資します」などとチラシやダイレクトメールなどを送り、申し込んだ人に対して保証金などの名目で先にお金を振り込ませる手口です。実際に融資することはまずありません。

↓対策

まずは本人に、こちらから確認の連絡をしましょう。最

正規の貸金業者がどんな名目であれ、融資を前提に現金を請求することはありません。うますぎる話は疑いましょう。

④ 還付金詐欺

社会保険事務所や市役所、税務署等の職員を装って電話をかけ、保険料や医療費、税金等を還付しますと言つてATMまで誘導し、携帯電話で指示して反対に振り込ませる手口です。

↓対策

本来、還付を受けるためにATMを操作することはありません。相手が告げる電話番号にはかけず、電話帳などで調べて関係機関に問い合わせましょう。

相談窓口

市役所市民課

(☎) 662-3163

まちの文化財 ④8

く3階建養蚕農家を探る



屋根裏の3つのタイプがあります。市内では2階の屋根裏を「タカ」と呼びます。2階の天井が屋根裏の床板を兼ねており、タカは実質的な3階として利用されています。平成18年度調査では、2階建屋根裏が202棟、3階建と3階建屋根裏が485棟ありました。

今年の調査では、2つの大きな成果がありました。第1は、明治22年に建築された3階建農家を大谷で発見したことです。棟札には藤田松治・中島米太郎・中島万吉の3人の大工の名前がありました。119年前の明治22年に瓦葺の3階建農家が完成していました。

第2は、3階建の屋根を支える構造で3つの基本形を発見しました。中引き梁・登り梁方式(栗ノ下、筏、鵜縄、轟、別宮)、水平の小屋梁方式(大杉、奈良尾、横行)、トラス方式(大谷)です。外観は同じであっても、蚕室を確保するための屋根裏の組み方は多様で、さまざま工夫が凝らされています。

3階建農家が見られる地域は全国でも但馬だけです。3階建農家の家並みは、養父市が全国に誇りうる大きな財産であることが分かってきました。

(社会教育課)

平成18年度から、養父市教育委員会と近畿大学建築学科、兵庫県教育委員会が共同で3階建養蚕農家の調査を実施しています。今年は8月18日から23日まで、近畿大学14人と社会教育課職員7人が3班に分かれ、関宮と大屋を中心に31戸を訪問して調査をしました。

瓦葺の3階建養蚕農家には、2階建屋根裏、3階建、3階建

最近の手口も巧妙化してきています。自分だけで判断せずには相談してください。